

創立 90 周年を迎えて



一般社団法人東京都卓球連盟
会長 小川 敏夫

一般社団法人東京都卓球連盟は、本年10月1日、創立90周年を迎えました。これも偏に本連盟を支えてくださっております会員の皆さまならびに関係各位のおかげと、深く感謝申し上げます。

80周年から90周年までの10年間は、東京都の区市町村支部化を軌道に乗せ順風満帆の発展を遂げてまいりました。2018年には法人化をし、一般社団法人東京都卓球連盟として社会的にも責任のある団体として、名実ともに東京都を代表する卓球統一団体となりました。

この10年間も、役員をはじめ多くの方々に支えられ、様々な大会事業運営を行ってまいりました。その中で、2014年には世界選手権大会東京大会を代々木競技場第一体育館および東京体育館で開催し、総力を挙げて運営を行ったことが印象に残っております。

2020年から会長を務めておりますが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大で、全国的に感染が広がる状況となり、残念ながら第72回・第73回・第74回と3年連続で東京卓球選手権大会の開催を断念せざるを得ませんでした。また、全国大会の中止に伴う予選会の中止や、密状態を避けるための会場変更等、会員の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。このような状況にも関わらず、変わらぬご支援をいただき、誠にありがたく深く感謝申し上げます。

この創立90周年は新たな発展に向けての出発点です。これからはウィズコロナの時代となり、事業運営も過去にない状況が予想されますが、卓球界のさらなる発展に向け、東京都卓球連盟役員一同はなお一層の努力を重ね、皆さまに喜んでいただけるよう努めてまいります。関係各位のご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。